

本を選ぶ

- あなたにとっての本は？
- 「14歳の世渡り術」が、できること／で、できること。
- 学校図書館に異動になって一年
- DMかたろぐ

2023年(令和5年)4月10日

●発行/ライブラリー・アド・サービス

〒114-0002 東京都北区王子 4-23-4 TEL:03-6908-4643

<https://www.las2005.com>

●●●●●ろん・ぼわん●●●●●

あなたにとっての本は？

塩瀬 治

シュメール人が、紀元前3100年頃、粘土板にくさび形の文字をきざみはじめました。それが具体的な文字の最古のものと思われます。シュメール人の遺跡からは、多数の楔形文字のもととなった絵文字をきざんだ粘土板が見つかっており、それらのほとんどは、奴隷や家畜、物品の数をかぞえ、穀物の量をはかり、土地面積を計算するという、生活や行政・経済上の記録として用いられたといえます。今でも楔形文字の完全な解読はできていませんが太古の人たちの文字に込められた当時の生活がさまざまに想像されます。今でも新書を開くとき、私が最初の絵本を子供の頃に開いた時に感じた、なんとも言えない憧れやワクワク感が起こります。本を作った作家だけではなく、文章の字体や絵描きさんの絵と紙の質感、印刷の美しさや本の表紙や背表紙まで、多くの本に関わる人たちの作品に込める思いや情熱、願いに、なぜだか分かりませんが、ドキドキします。面白そうな本と出会う時、その本に込められている多くの人たちの息遣いや願いに共感できる瞬間に、本と出会えた実感が湧き上がります。

『ち。—地球の運動について—』(魚 豊作・画)は、最近読んで中でその実感が持った本です。

舞台の15世紀のヨーロッパでは人々が、異端思想を持っただけで火あぶりに処せられていた時代に天体観測を通じて当時の絶対的権威であった天動

説に対して、真理を追及していく賢者たちの悲劇的な物語です。どのような迫害にあっても科学と数学によって証明される宇宙の真理の美しさに人は惹かれ、探究し続けていく姿を生々しく描いています。そこには、地道に命懸けで測定されてきた多くの科学者の地動説の証拠となる星座の動きや数学的根拠本が記された本が重要なアイテムとして扱われます。地動説は異端思想として摘発され処刑される危険思想でしたが、その真理を記した本は、真理を求める人に読まれ、守られていきます。私は教育者として、星の環会から「地球環境から学ぼう！私たちの未来」を監修し出版させて頂き、現在光村図書で小学校6年生の国語の教科書に推薦されたという過分な名誉を頂きました。イラスト、デザインを描く人、似顔絵描きさん、多くの方々に関わって頂きました。

近年、社会をアルゴリズムやプログラムで解釈しようとしている評論家たちが現れ、さらにはIT企業によって対話型生成系AI(チャットGPT)が発表されました。人工知能が膨大なデータから人間が思考するようなパターンと好みを学習し、ベストセラー作家として登場するのではないかと危惧されています。「本」は生身の人間がデータやパターンを超えた、真理への探究心や好奇心を刺激し、人間の持つ心の響き合いや共感を刺激する、多くの人々の共同作業による人類の財産です。あなたが本を開くとき、そこには多くの人々の思いや願い、真実が感じられる瞬間があるかもしれません。そういう多くの本が皆さんの人生を豊かにしていくのだと信じて疑いません。(しおせ おさむ)

「14歳の世渡り術」が、できること／で、できること。

高野 麻結子

●フグの心、人の心

その生き物の名前は、偶然見たドキュメンタリー番組で知った。

アマミホシゾラフグ。

奄美大島周辺に生息し、オスは海底の砂を使って複雑なミステリーサークルを作る。貝殻やサンゴの欠片を飾りのように並べ、メスをひたすら待つ。気に入られれば求愛、繁殖、産卵…となるけれど、悲しいかな、誰の関心も引かないことだである。

なんだか、若い人に向けた本作りに似ているな。この話を聞いた時、そう思った。これだと決めたテーマで、著者で、1冊の本を作る。出来上がった本は、この世に1つしかないのは間違いない。けれど、気に入って手にしてくれるかは、相手次第だ。

「やあやあ、こんなスゴい本ができたし、読んでみてよ。絶対気に入るから」なんてずかずかと相手の心に踏み込むことは、ためられる。それは、かつて自分も通り過ぎた年齢にも拘わらず、わかつたつもりになることができない相手だからだと思う。

本は、顔が見えない対一のメディア。その人が必要な時、そのタイミングで出会わなければ、時間をただ費やさせてだけで終わってしまう。だからむしろ「こんなものができたけど、どうかな？」という心持ちに近い。近づいてくれるのを待つ。

●本作りはこうして始まる

「14歳の世渡り術」は、「知ることは、生き延びること」というコピーのもと2007年に刊行した中学生向けのシリーズで、ラインナップは現在100点を超える。扱う範囲は進路や人間関係の悩みから、貧困や依存症といった社会問題まで幅広く、中心読者のヤングアダルト層（13～18歳）に加えて、大学生や大人の方が学び直したいから、と手にして下さることも多い。これまでに『学校では教えてくれない生活保護』（雨宮処凛）、『お金の頼らず生きたい君へ』（服部文祥）、『妄想古文』（三宅香帆）、『タガヤセ！日本「農水省の白石さん」が農業の魅力教えます』（白石優生）などを刊行してきた。

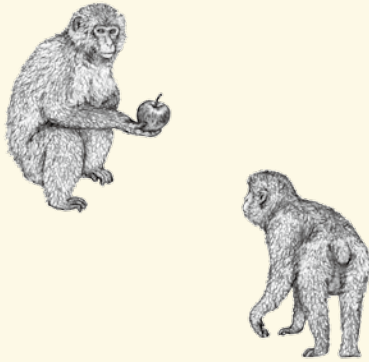
14歳編集部固定メンバーは現在8人。月に一度の会議では、2時間ほどかけて、それぞれが持ち寄った企画を検討する。

この人に、こんなテーマで本を書いてもらおう、とか、最近ならコロナ禍で遠出は難しいから「旅」をテーマにしたアンソロジーを作ろう、とか。生活保護について知っておくことは、自分が使える権利を知ることだから、若い読者にこそ読んでほしい、とか。会議は侃侃諤諤、座布団が飛ぶ、ミカンが飛ぶ……といった激しさはないけれど、編集者たちはみな、それぞれの胸の内を、目指すところを言葉にして、その本がなぜなくてはならな



いか、なぜ今この書き手で世に出す必要があるかを伝えていく。

1つの企画が14歳編集部会議で通ると、編集部長会議、各部署のトップが集まる最後の企画会議へと進み、3段階の検討を経て、制作が始まる。



©Naoya Hata (『生きものは不思議』より)

●14歳はどんな人？

編集会議でよく話題になるのは、「リアル中学生が読みたいものって、どんなものだろう？」ということ。大人向けの、自分と同世代に向けた本なら、自分の関心を扱えば大きくは外れない。でもそういうわけにもいかない。なのでみんな考える。目まぐるしく流行も移り変わる中で、腰を据えて考えてみたいことってなんだろう。

自分が中学生の頃は、SNSもなかったし、時間の流れも、関わる人間の数も、ずっと少なかった。人間は、他者と関わりながら群れで生きる動物だ。だからその数が増えれば、そのぶん負荷がかかる。心や頭がいくつあっても、足りない。そんな若い人、そして変化し続ける人に、何をどんな風に届けられるだろう。

自分がわからない相手に、作った本を好きになってもらうのは無理だ。だからまず、相手をよく研究しなくちゃ。そう思って、図書館司書の方に話を聞いたり、中学校の先生にお願いして中学生と座談会をしたり、スクールカウンセラーの方に来社いただいて、彼らがどんな人生を歩んできたかを教えてもらった。カウンセラーの方は編集部のみんなに向けて、今の14歳が生まれてから今日

までに起こった、震災や戦争などの出来事と心身の成長をタイムラインのように示してくれた。いつも企画会議をしている会議室の大きなホワイトボードは、14歳の歴史で埋められた。

●世渡りの「術」ってなんだろう

中学生を読者対象としたシリーズ書籍が、ここ数年でもいくつかの出版社から出ている。そんななかで「14歳の世渡り術」の特徴を挙げるなら、「世渡り“術”」と言うように、「方法」や「手段」「術」を届けることにある。サバイバルではないけれど、困った時に、自分の手元で道具を作れる。つまり、自分の持っている言葉で考えたり、人と話したり、向き合うことも、危険なら逃げることもできる。

それができると、見知らぬものに出会ったり、新しい風にあたることも、今より怖くはなくなる。

未知の世界を、自分と異なる世界を、むやみに拒まないように生きる術。それが世渡り術なのではないか、そんな風に考えている。

人間のことを知る時に、他の動物たちがどうしているのか、割と気になる。自分たち人間は賢いのか。残念ながら、その答えが今の世界の姿だ。視界を広げて、ぐるっと地球を眺めてみる。争いを起こさずとも生き延びられる方法、言葉以外の方法で自分の想いを伝える術…。そんなわけで、生きものの研究に人生を捧げている粋な研究者の方々に寄稿をお願いして『生きものは不思議』という本が2月に生まれた。アマミホシゾラフグの話もこの中にある。

そういえば、アマミホシゾラフグの名前は、体の小さな白い点を、奄美大島の夜空に見渡す限り輝く星空に喩えて付けられたという。

コツコツと世界を更新することを諦めずに続ける。そして次の世代に渡す。そんな風に思いながらこのシリーズを作っている。

(たかの まゆこ：河出書房新社)

<中学生以上、大人まで>「14歳の世渡り術」→
<https://www.kawade.co.jp/np/yowatari.html>

学校図書館に異動になって一年

小川 靖子

2021年4月から中学校司書になりました。前年に引き続きコロナ対策をとりながら、生徒全員にタブレットがいきなり、ICT教育が進められました。コロナ対策のために図書館利用に制限がかかることと、タブレット利用を進めために、調べ学習で紙資料の利用が今までよりかなり減ってしまいました。

このような状況の中でも、時期を遅らせて5月からオリエンテーションを始めると目に見えて利用者が増えてきました。

6月からは委員会活動も始まり、委員長の熱意に引張られ、いろいろな企画（朝読カード、本の福袋、クラス対抗読書大会、図書委員発行の図書便り）を制約がある中、できるだけ生徒のやりたい気持ちを尊重して補助してきました。

図書委員のおすすめ本コーナーがあり、初めは目立たなかったのですが、2学期の終わりごろからこのコーナーに立ち寄る生徒が増えました。図書委員発行の図書便りも発行すれば必ず何人か借りていきます。大人が出す図書案内よりも同じ年代の子が進める本に興味があるようです。

夏休み前には一番利用者が増え、昼休みには人数が数え切れなくなるほどでした。その後は次第に落ち着き、よく利用してくれる生徒の顔も覚えられるようになりました。

この学校に来た当初「ここは落ち着いている地域」と言われたように「ええ子（良い子）が多いな」というのが第一印象で、3月になった今でも変わりません。住宅街の中にあり、学校の中も校外ものんびりしています。そのためカリクエストの本が少ないです。予約本の準備に時間がかかり「本が届きました」と知らせても、生徒から「もう買ってしまった」と言われることもあります。

年末に3年生が図書館にマンガがあるのを見つけて、「今まで知らなかった！『名探偵コナン』も『ドラゴンボール』もある！」と、友人と喜んでいました。マンガも置いていますが授業中は木製のカバーで目隠しして、昼休みと放課後しか目に触れないよ

うに配慮しているので気付かなかったのでしょう。

各クラスに本好きな生徒がいます。また、今までマンガしか読まなかった生徒が、ライトノベルを読むことで、本を読みとおす自信がついたのかいろいろなジャンルの本を読むようになったこともありま

す。ラノベを読む生徒と、文学系の本を読む生徒が混在しています。

この中学校では例年ビブリオバトルをしており、今年は3年生だけ実施しました。クラスごとにチャンプ本を決める決勝戦に5クラス全部見学に行かせてもらいました。生徒の発表の上手さと、選んだ本がしっかりした内容のものが多いのに驚きました。意外だったのは生徒が自分で購入した本が多い事です。発言の機会がある時は、「図書館にも置いています」と、図書館に足を運ぶきっかけになればと宣伝しています。様々な要因で1、2年は見送られたのが残念に思いました。

ビブリオバトルの決勝参加本を見ると、本のお好み

が大人の本に近く、映画化された本やベストセラー作家の本が並びます。普段から直木賞、本屋大賞の本、新聞等で話題の本が人気です。読書が好きの子でも岩波少年文庫など、司書が読んでほしい本にはなかなか手が伸びません。今はまず本を楽しんでもらうことにしています。

2月下旬から3年生は英語の授業で図書館を利用しています。絵本を英訳してタブレットを使い、5分間の紙芝居をつくるためです。各クラスに本の好きな子がいて、昔好きだった絵本があると嬉しそうに「ハリー」「そうべえ」「ぐりとぐら」「かばくん」「じぶた」などのタイトルを挙げます。何度も読んだ本にまた出会うのが本当に嬉しいことだと気づかされました。コロナ対策として机を離したり、1クラスごとに机や本を消毒したりと大変でしたが、生徒に来てもらって初めてわかること、再確認できることがあり大変勉強になりました。

その後、生徒の発表を見学する機会があり、その斬新なアイデアに驚きました。発表が5分なので本

文の省略が必要となってきます。絵本から多くの場面を用いて英訳したグループもあれば、別のグループでは英訳に合うように他所からイラストを持ってくるなどして独自の世界を作っていました。タブレットを使うことで自分の思いを伝える工夫ができ、表現の幅が広がると感じました。

図書館以外の活動で、養護教諭と選んだ本を保健室に置くと、思った以上に読んでもらえました。

1年を通して思うのは、先生から利用を直前に言われる事が多かったことです。「今日、本が要る」「明日使う」では準備に限界があります。これからは1日でも早く予定を知らせてもらえるような関係を築

きたいです。4月の異動で新任研修の時「生徒と顔を合わせるまでの辛抱」と言われたのが心に残っています。

“働く場所は変わっても、利用者に対する心構えは同じ。生徒に接することが、どうすれば本を手にとってもらえるか、もっと使いやすくするにはどうしたらいいか、次は何をしようとする原動力になる”と実感しました。

今年の経験を活かして、来年も学校勤務を希望し、もっとやりたい事が見えてきました。

(おがわ やすこ：元中学校司書)

DMがたろく

ミキハウスの 全37巻
宮沢賢治絵本シリーズ
 40p～112p/1,650円～2,530円(税込)

かの今江祥智氏から「白眉である」と称され、多くの画家の絵筆を動かした！賢治作品との出会いを創り出す話題のシリーズ。



三起商行株式会社 〒143-0006 東京都大田区平和島6-1-1
 miki HOUSE 東京流通センターアネックス4階
 TEL03-6262-7280 FAX 03-6262-7281

どう生きる？ どう考える？ 人生の岐路に立ったとき…… 人間関係や勉強、仕事で悩んだとき…… 将来に不安を感じたとき……

すべての迷いや 悩みの答えが 必ず見つかる。

とっておきの 180冊を 紹介します。

齋藤孝先生が選ぶ 高校生からの 読書大全

齋藤孝 定価 2,750円 (本体 2,500円 + 税 10%)
 ISBN 978-4-490-21074-3

株式会社 東京堂出版 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-17
 TEL 03-3233-3741 FAX 03-3233-3746

世界 迫力のパノラマ・ワイド！ 調べ学習に！

時空の歴史大図鑑

時空のラインをたどって、人類の歴史と文明を探索し未来を考えよう！

[監修] 青柳正規

前半は時系列に、後半はテーマ別に構成。音楽、文学、スポーツ、科学、戦争ほか。

定価3190円 ISBN978-4-86706-036-0

好評既刊 **世界魔法道具の大図鑑**
 定価3080円 ISBN978-4-86706-008-7

西村書店 〒102-0071 東京都千代田区富士見2-4-6
 ☎ 03-3239-7671 Fax.03-3239-7622 (税込価格)

マンガ 夢分析の世界へ

ふしぎなカウンセラーと四つの物語 森田健一 [著]

◎定価1,870円
 ■A5判/並製/182頁 ISBN978-4-571-24090-4

蝶に導かれてふしぎなカウンセラーに出会い、夢分析で無意識下の自分の心の声を知り自らの悩みを解決できた4人の物語。

思春期を生きる 高校生、迷っていい、悩んでいい、不安でいい 小野善郎 [著]

◎定価1,760円
 ■四六判/並製/224頁 ISBN978-4-571-23060-8

思春期って何なんだろう？ 大人になるって何？ 児童精神科医が中高生と親たちに贈る、大人への道を進むためのガイド。

福村出版 〒113-0034 東京都文京区湯島2-14-11
 TEL 03-5812-9702 FAX 03-5812-9705 https://www.fukumura.co.jp

SDGsをさらに深く知り、
考えるためにおすすめの書籍

渡邊 優 著

SDGs辞典

SDGsの17個の目標および169個のターゲットに
つかわれている用語を徹底解説。

英語対訳付「SDGsが生まれるまで」

など有益なコラムも！

英語教育にもおすすめの一冊。

A5判美装カバー・218頁 2750円



ミネルヴァ書房 京都市山科区日ノ岡堤谷町 1
TEL075-581-0296 ※価格税込

君のクイズ



クイズプレイヤーの思考と
世界がまるごと体験できる

生放送のテレビ番組決勝戦に
出場した三島玲央は、対戦相
手・本庄絆が、まだ一文字も問
題が読まれぬうちに回答し正
解し、優勝を果たすという不可
解な事態をいぶかしむ。いった
いなぜ、彼は正答できたのか？

著：小川 哲

定価1,540円(本体1,400円+税10%)

NDC913/四六判/192頁/ISBN978-4-02-251837-8



朝日新聞出版

ルールやマナーを守らぬものは「鉄」にあらず！

マナーを守って楽しく極める！ すずき出版

正しい鉄ちゃん道

全3巻 揃定価税込9,900円(各巻税込3,300円)A4判・各47頁

①撮り鉄②乗り鉄③駅鉄 ISBN978-4-7902-3406-7

山崎友也 著 「鉄」の道を知り、正しく歩むことをめざし
たセット。ルールやマナーを厳しく指導。



〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-3-1岩波書店アネックスビル5F
TEL03-6272-8003 FAX03-6272-8016 <http://www.suzuki-syuppan.co.jp/>

株式会社 三善

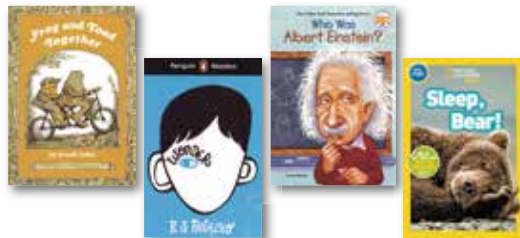
2022年度 英語名作ライブラリー

英語版 かえるくんと がまくん

ペンギン・リーダー60セット A

WHO WAS? 偉人の伝記セット

ナショナル・ジオグラフィック・リーダー 生き物セット



Miyoshi 〒167-0032 東京都杉並区天沼2-2-3
TEL : 03-3398-9163 FAX : 03-3398-9170

アマゾン川

熱帯雨林・生命の源

サンガマ・フランシス 文
ロモロ・ディポリト 絵
ゆらしようこ 訳

大自然の宝庫アマゾン川が、
地球の未来を支える！
多様な生物、人々の暮らし
から自然保護まで、アマゾ
ン川の全体像に迫る一冊。

【解説】関野吉晴（探検家）

小学校中高学年～

★定価3080円(税込)

詳細はこちら



徳間書店 〒141-8202 東京都品川区上大崎3-1-1目黒セントラルスクエア
TEL.049-293-5521(受付センター) <https://www.tokuma.jp/kodomonohiro/>

みんなでゴスペル！

山本 愛・編著 A4判 80頁 定価2,640円(税込)

子どもたちと著者の長年のゴスペル体験から生まれた、

日本ではじめてのゴスペルの教科書！



ゴスペルの基本から歌い方、歴史、曲
ごとのポイント、楽譜まで…。ゴスペ
ルの基本的なことを学べるテキストで
す。音源は、歌い方のお手本、ピアノ
伴奏のみの2種類が入ったCDを付属。
(YouTubeでも同じものが聴けます)
テキストと音源を利用して誰でもすぐ
教えられます！録音技術のなかった古
い時代にアフリカの人たちにより耳か
ら耳、口から口へと歌い継がれてきた
シンプルで力強く、覚えやすい8曲を
収録。伴奏は小学生でもバイエル終了
レベルなら練習して弾けるアレンジ。
学校や、サークル、お家でも！



朔北社 〒191-0041 東京都日野市南平 5-28-11F
Tel.042-506-5350 <http://www.sakuokusha.co.jp>